

中間支援活動助成(創設)事業実績報告

| | | | |
|-----|-------------------------|------|------------|
| 団体名 | 特定非営利活動法人 なごみ | 代表者名 | 事務局長 田村 幸大 |
| 事業名 | 協働体制で構築する新たな地域づくり中間支援事業 | | |

< 事業実施実績 >

| | 相談業務 延べ回数/団体数 | ネットワークの 構築・情報提 供 件数 | 人材育成 (講座開設等) 延べ参加人数/回 数 | 書類作成 指導 件数 | その他 調査研究等 件数 | 支援・指 導・連携 件数 |
|-------|------------------|------------------------------|----------------------------------|------------------|--------------------|--------------------|
| R5 計画 | 100 | 2 | 1 | 0 | 8 | 10 |
| R5 実績 | 260 | 8 | 8 | 5 | 8 | 30 |

< 効果と成果 >

連携している団体の強みが「中高生支援」や「子ども食堂」「学生支援」などもある事から、西宮市内外からの学生相談が増加しました。各団体からのSNSを活用した情報発信や、連携団体同士が一緒になって情報発信したことがその成果につながったと考えています。

< 連携と協働の成果 >

今年度の一番の事業成果としては、事業名としても記載している「協働体制で構築する新たな地域づくり中間支援」を西宮市の中間支援の今後の在り方を検討し、提案する形にまで持っていた事です。一方的な提案や意見ではなく、研究会を重ねて、行政の方も一緒に考え、意見を交わすことによってその理解をアクションにつなげられたのではないかと感じています。

まだまだ小さな一歩ではありますが、ここから地域で活動する団体・学生などとも一緒になって、その実現につなげていきたいと考えています。

< 今後の展望 >

本来であれば3年目の創設に向けた展開もひとつの視野には入れていましたが、上記の通り、西宮市での大きな転換が行われることとなりました。その為、中間支援団体の創設ではなく、中間支援そのものの在り方を住民・市民団体・行政・社協と具体的に考え、創り上げる動きを進めたいと考えています。この点については、本助成を活用させて頂いた一つの成果でもありますので、ご相談もさせて頂きながら検討したいと思っています。

< 収支決算書 >

(収入)

| 項 目 | 金 額 (円) |
|-----------|---------|
| 中間支援活動助成金 | 403,000 |
| 自己資金 | 480 |
| 合計 | 403,480 |

(支出)

| 区分 | 項 目 | 金 額 (円) | 左のうち 助成対象金 (円) |
|--------------|------------------------|---------|-------------------|
| 直接 経費 | 中間支援体制構築人材 アルバイト人件費 | 275,000 | 275,000 |
| | 謝金 | 50,000 | 50,000 |
| | 印刷費 | 8,671 | 8,671 |
| | その他 (等) | | |
| | 小 計 | 333,671 | 333,671 |
| 間接経費 (一般管理費) | | 69,809 | 69,329 |
| 合 計 | | 403,480 | 403,000 |